



世田谷プラットフォーム

単位互換共通シラバス

大学院考古学分野



国士舘大学



駒澤大学



昭和女子大学

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

大学院考古学分野 目次

国士舘大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
1	考古学演習Ⅰ	2021	通年	月	3	4	眞保 昌弘	演習
5	考古学演習Ⅱ	2021	通年	月	6	4	眞保 昌弘	演習
8	考古学特論1	2021	通年	月	4	4	眞保 昌弘	講義
11	考古学調査法特論1	2021	通年	水	1	4	眞保 昌弘	講義
14	考古学調査法特論2	2021	通年	火	6	4	眞保 昌弘	講義
17	考古学特論2	2021	通年	水	3	4	関 義則	講義
21	考古学特論4	2021	通年	水	4	4	関 義則	講義
24	考古学特論3	2021	通年	火	2	4	井上 尚明	講義

駒澤大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
28	考古学特講Ⅰ	2021	通年	4	火	2	寺前 直人	講義
31	考古学演習Ⅰ	2021	通年	4	火	3	寺前 直人	演習
34	考古学特講Ⅲ	2021	通年	4	月	3	角道 亮介	講義
37	考古学演習Ⅲ	2021	通年	4	月	4	角道 亮介	演習
41	考古学特講Ⅳ	2021	通年	4	水	4	土生田 純之	講義
44	考古学特講Ⅴ	2021	通年	4	水	5	高久 健二	講義
47	考古学特講Ⅵ	2021	通年	4	火	5	設楽 博己	講義
51	考古学特講Ⅶ	2021	通年	4	木	2	松木 武彦	講義

昭和女子大学

ページ	科目名称	開講年度	開講期	曜日	時限	単位数	教員漢字氏名	授業形態
54	考古学研究ⅠD 古墳時代文化研究	2021	前期	火	4	2	小泉 玲子	講義
56	考古学研究ⅠD 古墳時代文化研究	2021	後期	火	4	2	小泉 玲子	講義

考古学演習Ⅰ

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029700		科目ナンバー			
授業名	考古学演習Ⅰ					
英文授業名	Seminar on ArchaeologyⅠ					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。		

授業の概要・ねらい	考古学史にみる学問的発達を含め考古学資料の読み解き方など基本的な考え方を学ぶことにより、歴史学を構築するための歴史資料として取り扱えることができるようにする。					
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。					
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	適宜、講義中に紹介する。					
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。					
具体的評価方法	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」について講義ごとに評点化し、定期試験結果と合わせて評価。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	発掘調査現地見学の機会を紹介するので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	講義のねらい	計画の説明	第16回	内容	講義のねらい	計画の説明
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第2回	内容	考古学の定義	浜田耕作の定義	第17回	内容	資料論（1）考古資料と文献資料	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第3回	内容	考古学の発達史（1）古代以前		第18回	内容	資料論（2）形態分類	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第4回	内容	考古学の発達史（2）古代		第19回	内容	資料論（3）機能分類	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第5回	内容	考古学の発達史（3）中世		第20回	内容	型式論（1）型式学	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第6回	内容	考古学の発達史（4）近世① 水戸光圀 わが国初の発掘まで		第21回	内容	型式論（2）目的・用途・機能	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第7回	内容	考古学の発達史（5）近世② 水戸光圀 わが国初の発掘		第22回	内容	型式論（3）形式・型式・様式① 概論	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	

第8回	内容	考古学の発達史（6）近世③ 蒲生君平	第23回	内容	型式論（4）形式・型式・様式② 理論
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	考古学の発達史（7）近世④ 藤原 貞幹	第24回	内容	型式論（5）形式・型式・様式③ 演習石器
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	考古学の発達史（8）近世⑤ 青柳種信	第25回	内容	型式論（6）形式・型式・様式④ 演習土器
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘 現場に行き、現物にふれる 機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	考古学の発達史（9）近代① 時代背景	第26回	内容	型式論（7）形式・型式・様式⑤ 演習瓦
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	考古学の発達史（10）近代②博物 館の創設	第27回	内容	層位論（1）層位とは
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物に ふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	考古学の発達史（11）近代③ 文化財保護法成立まで	第28回	内容	層位論（2）層位研究の実際
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物に ふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	考古学の発達史（12）近代④ 文化財保護法成立以降	第29回	内容	層位論（3）層位学の研究史と今 後
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現 場に行き、現物にふれる機会を 作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養 うため、博物館資料館、発掘現場 に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

第15回	内容	総括	第30回	内容	総括
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

考古学演習Ⅱ

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071029800		科目ナンバー			
授業名	考古学演習Ⅱ					
英文授業名	Seminar on Archaeology Ⅱ					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	過去人類が残した遺跡や遺物を対象にして、往時の人間社会の仕組・思想・文化を探る。		
授業の概要・ねらい	考古学の中で最も基本的な方法論である分布、年代論を理解し、考古学資料を時間的空間的に位置付けることを学び、歴史学を構築するための歴史資料として取り扱えることができるようにする。		
到達目標	考古学の対象である遺跡や遺物が歴史資料となるプロセスを理解してほしい。		
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。		
参考書	「日本考古学」 1～9 巻 岩波書店		
評価の基準	「発表」「受講態度」「質問等の積極性」「定期試験」を総合的に評価する。		
具体的評価方法	評価の基準にある「発表」「受講態度」「質問等の積極性」の3項目を講義ごとに評点化し、定期試験結果とあわせ評価する。		
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	発掘調査現地見学の機会を紹介するので、そうした場への参加を通して考古学への理解を深めて欲しい。		
単位互換			
特記	特になし。		

授業計画

第1回	内容	講義のねらい	計画の説明	第16回	内容	講義のねらい	計画の説明
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第2回	内容	分布論（1）分布論とは		第17回	内容	年代論（1）概論	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第3回	内容	分布論（2）文化圏		第18回	内容	年代論（2）時代	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第4回	内容	分布論（3）分布圏		第19回	内容	年代論（3）年代	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第5回	内容	分布論（4）中心と周辺		第20回	内容	年代論（4）年代確定論①遺跡	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第6回	内容	分布論（5）生活圏、分布と自然環境		第21回	内容	年代論（5）年代確定論②遺物	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第7回	内容	分布論（6）分布の実際の演習		第22回	内容	年代論（6）絶対年代①文字資料	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	
	授業実施特記	特になし。			授業実施特記	特になし。	
第8回	内容	分布論（7）資源と生産地		第23回	内容	年代論（7）絶対年代②暦	
	授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。			授業時間外における学修（予習・復習等）	考古学についての広い見識を養うため、博物館資料館、発掘現場に行き、現物にふれる機会を作る。	

	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	分布論（8）通婚圏と情報圏	第24回	内容	年代論（8）絶対年代③年輪年代
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	分布論（9）民俗と種族	第25回	内容	年代論（9）絶対年代④化学分析
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	分布論（10）支配領域と統 治	第26回	内容	年代論（10）相対 年代①層位
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	分布論（11）道と交易	第27回	内容	年代論（11）相対年代②土器型 式
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	分布論（12）意味のある分布、 意味のない分布	第28回	内容	年代論（12）相対年代③瓦
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	分布論（13）確かな分布、 不確かな分布	第29回	内容	年代論（13）相対年代④実際の 演習
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	総括	第30回	内容	総括
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	考古学についての広い見識を養う ため、博物館資料館、発掘現場に 行き、現物にふれる機会を作る。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

考古学特論 1

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	月4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071003600		科目ナンバー			
授業名	考古学特論 1					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 1					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	古代国家形成期の東国		
授業の概要・ねらい	古代東国を対象とした考古学的資料を研究することによって中央集権的国家形成期にみる地方支配の成立過程を在地社会の動向から読み取ることができるようにする。		
到達目標	「考古学とは何か」。広大な歴史の解明には、考古学的手法なしでは、成し得ないことについて基礎的理解を深める。		
教科書と準備するもの	眞保昌弘『古代国家形成期の東国』同成社 9720円 このほか、講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。		
参考書	必要に応じて授業中に指示、配布する。		
評価の基準	「受講態度」「質問等の積極性」「レポート、口頭発表」などを評価する。		
具体的評価方法	毎回の講義ごとに、「評価の基準」3項目を評点化する。		
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。		
単位互換			
特記	特になし。		

授業計画

第1回	内容	講義のねらい、計画の説明	第16回	内容	東国における渡来人配置（１）対外関係
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	対外関係と中央集権的国家形成期の日本	第17回	内容	東国における渡来人配置（２）考古学的資料
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	中央集権的国家の展開（１）制度	第18回	内容	中央集権的国家の展開（１）陸奥国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	中央集権的国家の展開（２）宮都	第19回	内容	中央集権的国家の展開（２）肥後国
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	中央集権的国家の展開（３）五畿七道	第20回	内容	坂東出現と陸奥国接圏地域
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	中央集権的国家形成期の東国	第21回	内容	接圏地域の様相（東山道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（１）上野国	第22回	内容	接圏地域の様相（東海道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（２）下野国	第23回	内容	接圏地域の様相（北陸道）
	授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修		授業時間外における学修（予習・復習等）	わが国における律令国家の特性を学修
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地社会（３）陸奥国		内容	寺院官衙と瓦からみた畿内と坂東

第9回	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修	第24回	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	寺院官衙の成立と前代からの在地 社会（４）相模、武蔵国	第25回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸奥 （１）上野国
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	寺院官衙の成立と前代からの 在地社会（５）上総、下総、 常陸国	第26回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸 奥（２）下野国
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	東国における寺院官衙の成立 と前代からの在地社会の動向 を総括	第27回	内容	寺院官衙と瓦からみた坂東と陸 奥（３）常陸国
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	古代石碑からみる中央集権的 国家形成期の在地社会（１） 上野国	第28回	内容	寺院官衙と瓦からみた西海道
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	古代石碑からみる中央集権的 国家形成期の在地社会（２） 下野国	第29回	内容	東国と畿内
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	古代石碑からみる東国におけ る中央集権的国家形成期の在 地社会を総括	第30回	内容	古代国家形成期の東国総括
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	わが国における律令国家の特性 を学修
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

考古学調査法特論 1

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	水1
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028500		科目ナンバー			
授業名	考古学調査法特論 1					
英文授業名	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 1					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義を行う。		

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査と出土遺物の取り扱いなど、実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身につけることができるようにする。					
到達目標	発掘調査の準備、実施、遺物の処理について理解する。					
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき－集落遺跡発掘編－」、同2013「発掘調査のてびき-各種遺跡調査編-」					
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熱意を重視する。					
具体的評価方法	評価基準の3項目を講義ごとに評点化する。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査 (1) 文化財の保護。	第16回	内容	発掘調査の実施(8) 遺物の取り 上げ方法と写真撮影
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第2回	内容	埋蔵文化財の保護と発掘調査 (2) 文化財保護法の解説。	第17回	内容	発掘調査の実施(9) 地形測量で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第3回	内容	発掘調査の準備(1) 調査計画	第18回	内容	発掘調査の実施(10) 墳丘測量で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第4回	内容	発掘調査の準備(2) 調査の目的	第19回	内容	発掘調査の実施(11) 窯跡調査で の測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第5回	内容	発掘調査の準備(3) 調査器具と 機材の準備	第20回	内容	発掘調査の実施(12) 集落跡調査 での測量器具の使い方
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第6回	内容	発掘調査の準備(4) 記録類の準 備	第21回	内容	発掘調査の整理(1) 遺物台帳の 作成
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	発掘調査の方法(1) 部分発掘と 全面調査の方法	第22回	内容	発掘調査の整理(2) 図面台帳の 作成
	授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事をスク ラップする。		授業時間外 における学 修(予習・ 復習等)	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第8回	内容	発掘調査の方法(2) 遺跡の地区 決定の方法	第23回	内容	発掘調査の整理(3) 写真台帳の 作成

	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	発掘調査の実施（1）縄文遺跡で の層位の見分け方	第24回	内容	発掘調査による遺物の処理（1） 出土遺物の洗浄方法
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	発掘調査の実施（2）貝塚での層 位の見分け方	第25回	内容	発掘調査による遺物の処理（2） 出土遺物の注記の方法
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	発掘調査の実施（3）古墳調査で の層位の見分け方	第26回	内容	発掘調査による遺物の処理 （3）遺物の接合方法
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	発掘調査の実施（4）窯跡調査で の層位の見分け方	第27回	内容	発掘調査による遺物の処（4） 遺物の補修
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	発掘調査の実施（5）土器の取り 上げ方法と写真撮影	第28回	内容	発掘調査による遺物の処理 （5）重要遺物の取扱い方
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	発掘調査の実施（6）鉄器の取り 上げ方法と写真撮影	第29回	内容	発掘調査による遺物の処理（6） 実測用具の準備
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	発掘調査の実施（7）青銅器の取 り上げ方法と写真撮影	第30回	内容	発掘調査による遺物の処理 （7）遺物実測の方法
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	新聞、テレビで続々と報道され る埋蔵文化財についての記事を スクラップする。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

考古学調査法特論2

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	火6
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028600		科目ナンバー			
授業名	考古学調査法特論 2					
英文授業名	Special Studies on Archaeological Survey and Analysis 2					
担当教員	眞保 昌弘					

授業形態	講義、演習、実験・実習・実技、アクティブ・ラーニング		
	e-learning利用	manaba	その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	考古学の実践的経験を積むための講義を行う。		

授業の概要・ねらい	現地における発掘調査によって出土する遺物の処理や調査結果の整理、報告書の作成まで具体的な事例をもとに一貫した実践的研究を進めることによって、歴史を考察するための基礎的技術を身に付けることができるようにする。					
到達目標	発掘調査成果のまとめ方について理解する。					
教科書と準備するもの	講義で取り扱う資料は、マナバに掲載するので、事前にプリント化すること。					
参考書	文化庁文化財部記念物課2010「発掘調査のてびき-整理・報告書編-」					
評価の基準	レポート、発表、受講態度など熱意を重視する。					
具体的評価方法	評価の基準3項目を講義ごとに評点化する。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	各種講演会、研究会への参加機会を紹介するので、そうした場への参加を通して講義内容の理解を深めて欲しい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	出土遺物の処理（1）拓本の方法	第16回	内容	出土遺物の保管（4）壊れやすいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	出土遺物の処理（2）拓本の処理	第17回	内容	出土遺物の保管（5）腐食しにくいものの保管方法 大型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	出土遺物の処理（3）記録類の整理保管・図面	第18回	内容	出土遺物の保管（6）腐食しにくいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	出土遺物の処理（4）記録類の整理保管・写真	第19回	内容	出土遺物の保管（7）腐食しやすいものの保管方法 大型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	記録類の処理（1）日誌の整理	第20回	内容	出土遺物の保管（8）腐食しやすいものの保管方法 小型品
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	記録類の処理（2）実測図の基本	第21回	内容	報告書の作成（1）報告書のいろいろ
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	記録類の処理（3）実測図の作成・石器	第22回	内容	報告書の作成（2）サイズと版面
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第8回	内容	記録類の処理（4）実測図の作成・縄文土器	第23回	内容	報告書の作成（3）縮尺と縮図
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

第9回	内容	記録類の処理（５）実測図の作成・土師器	第24回	内容	報告書の作成（４）遺跡のトレース
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第10回	内容	記録類の処理（６）実測図の作成・須恵器	第25回	内容	報告書の作成（５）遺物のトレース
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第11回	内容	記録類の処理（７）実測図の作成・木器	第26回	内容	報告書の作成（６）本文印刷
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第12回	内容	記録類の処理（８）実測図の作成・鉄器	第27回	内容	報告書の作成（７）本文レイアウト
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第13回	内容	出土遺物の保管（１）壊れにくいものの保管方法 大型品	第28回	内容	報告書の作成（８）図版レイアウト
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	出土遺物の保管（２）壊れにくいものの保管方法 小型品	第29回	内容	報告書の作成（９）目次の作成
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	出土遺物の保管（３）壊れやすいものの保管方法 大型品	第30回	内容	報告書の作成（10）装丁
	授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。		授業時間外における学修（予習・復習等）	新聞、テレビで続々と報道される埋蔵文化財についての記事をスクラップする。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	水3
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071003700		科目ナンバー			
授業名	考古学特論 2					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 2					
担当教員	関 義則					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	古墳・古墳時代・古墳の構造・古墳祭祀・副葬品・刀剣・馬具		

授業の概要・ねらい	古墳時代を象徴する古墳そのものの分析をとおして、古墳時代の社会にアプローチする。導入で古墳に対する基礎的な知識を整理する。次に被葬者や設計・祭祀あるいは年代など古墳や古墳群研究にかかる諸問題に触れる。後段では、副葬品とりわけ武器・武具・馬具に焦点を当て、分析の手順や手法に留意しながら、分析結果がどのような歴史解釈に結び付けられているのかを整理しつつ、今日の到達点と課題を解説する。					
到達目標	古墳及び古墳出土の副葬品の研究成果を踏まえつつ今日の到達点と課題を理解する。					
教科書と準備するもの	テーマごとにレジュメ・資料を配布する。					
参考書	レジュメに記載。					
評価の基準	古墳の概要及び副葬品（武器・武具・馬具）について基本的な知識を獲得している。					
具体的評価方法	春季・秋季2回のレポートで評価する。					
実務経験教員による授業科目	【実務経験】考古学を専門とする博物館学芸員の実務経験のある教員が考古学の講義を行う。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	本講では古墳及び古墳副葬品の研究、とりわけ型式学的な研究法に焦点をあて、分析手法の原理・原則を中心に解説する予定で、他の時代・遺物にも十分に活用可能なはずである。質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 年間の事業計画を説明する。	第16回	内容	古墳設計の諸問題 2 古墳設計と基準尺の検討について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）シラバスに目をとしておく。 （復習）特になし。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）古代の尺にはどのようなものがあったのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	古墳の基礎知識 1 古墳時代の研究の流れを回顧する。	第17回	内容	古墳副葬品の諸問題 1 型式学的研究法について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）いくつかの概説書に目をとしておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）型式学とは何かを調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	古墳の基礎知識 2 古墳の構造・外表施設、副葬品について講義する。	第18回	内容	古墳副葬品の諸問題 2 副葬品による年代決定論について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）いくつかの概説書に目をとしておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）古墳の副葬品にはどのような品目があるのか確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	古墳の基礎知識 3 古墳の実年代論について講義する。	第19回	内容	古墳副葬品の諸問題 3 刀剣と佩用方法の変遷について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）いくつかの概説書に目をとしておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）刀剣の佩用方法にはどのようなものがあるか確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第5回	内容	古墳の基礎知識 4 古墳の被葬者論について講義する。	第20回	内容	古墳副葬品の諸問題 4 刀剣の分類と編年について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）いくつかの概説書に目をとしておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）刀剣にはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	古墳・古墳群の諸問題 1 前方後円墳の成立と前期古墳論について講義する。	第21回	内容	古墳副葬品の諸問題 5 装飾付大刀の解釈論について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）前方後円墳とは何か及び前期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）装飾付大刀の種類について整理しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第7回	内容	古墳・古墳群の諸問題 2 前方後円墳の展開と中期古墳論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 6 刀剣と象嵌銘文について講義する。

	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）中期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第22回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）我が国の古墳時代に有銘刀剣がどれくらい確認されているかを調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 3 前方後円墳の配置論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 7 馬具の起源と展開について講義する。
第8回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）前方後円墳の配置に規則性の有無を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第23回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）馬具のパーツにはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 4 東国の後期前方後円墳論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 8 倭国における馬具の出現とその源流について講義する。
第9回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）後期古墳の特徴を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第24回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）古墳時代の馬具にはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 5 前方後円墳の終末年代論について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 9 馬具の種類と変遷について講義する。
第10回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）前方後円墳の終末年代にどのような議論があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第25回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）特になし。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳・古墳群の諸問題 6 終末期古墳の諸問題について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 10 鋳造馬具・鈴付馬具の諸問題について講義する。
第11回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）代表的な終末期古墳を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第26回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）鋳造製品の特徴について調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳祭祀の諸問題 1 造り出しと古墳祭祀について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 11 馬具の組成と階層性について講義する。
第12回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）造り出しとは何かを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。	第27回	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）特になし。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
	内容	古墳祭祀の諸問題 1 造り出しと古墳祭祀について講義する。		内容	古墳副葬品の諸問題 11 馬具の組成と階層性について講義する。

第13回	内容	古墳祭祀の諸問題 2 形象埴輪の意義について講義する。	第28回	内容	古墳副葬品の諸問題 1 2 馬具と戦術について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）形象埴輪にはどのような種類があるのかを確認しておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）特になし。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第14回	内容	古墳祭祀の諸問題 3 形象埴輪の配列について講義する。	第29回	内容	古墳副葬品の諸問題 1 3 副葬品としての火打金について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）良好な形象埴輪群の配列が確認された古墳を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておくとともに、これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）火打金とはどのような製品を調べておく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第15回	内容	古墳設計の諸問題 1 古墳の設計原理研究の流れについて講義する。	第30回	内容	まとめ これまでの古墳研究にかかる講義内容を総括するとともに、古墳研究の展望を示す。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）古墳の設計にかかる論考をいくつか読んでおく。 （復習）配布資料の内容を整理しておく。		授業時間外における学修（予習・復習等）	（予習）これまで配布したプリントとそれを自分なりに整理したメモに目をとおしておく。 （復習）これまでの講義を振り返り、レポートの課題に向けて自ら学修する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。

考古学特論 4

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1回)通年	開講時限	水4
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028300		科目ナンバー			
授業名	考古学特論 4					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 4					
担当教員	関 義則					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	文化財・文化財保護・文化財活用・埋蔵文化財		

授業の概要・ねらい	本科目では、文化財保護制度の概要とその実地的な運用について、文化財保護法及び関連法令そして法令を運用するための各種通達を、現場における運用実態や判例や行政実例をもとに解説し、当該制度に関する基礎知識を習得させるとともに、今日的諸問題について理解を深める。					
到達目標	文化財保護行政の制度と運用について正しく理解する。					
教科書と準備するもの	教科書はなし。授業の進行にあわせて適宜プリントを配布する。					
参考書	和田勝彦「遺跡保護の制度と行政」同成社 根木昭・和田勝彦編「文化財政策概論」東海大学出版会					
評価の基準	文化財保護行政の制度について基礎的な事項を理解できている。					
具体的評価方法	授業での発言・発表（50%）及びレポート（50%）で評価する。					
実務経験教員による授業科目	【実務経験】自治体で文化財保護行政に携わった経験を有する教員が、文化財保護行政制度と実際の運用について解説する。					
授業評価アンケートフィードバック・受講生へメッセージ	保護法及び関連法令の範囲は広く多岐に渡りますが、単なる法令解釈にとどまらず、運用や実務の視点から分かりやすく解説するように努めます。また、質問は随時受け付けますので、疑問点があれば、その場で質問してください。					
単位互換						
特記	特になし。					

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 文化財の定義と保護の目的	第16回	内容	文化財保護の諸制度（４） 行財政制度
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）シラバスに目をとし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第2回	内容	文化財保護の沿革（１） 文化財保護法制定以前の法制度	第17回	内容	文化財保護の施策（１） 活用に関する諸制度
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第3回	内容	文化財保護の沿革（２）文化財保 護法の制定	第18回	内容	文化財保護の施策（２） 修理・復原・整備
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第4回	内容	文化財保護制度の沿革（３） 文化財保護制度の充実と発展	第19回	内容	文化財保護の施策（３） 世界遺産
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第5回	内容	文化財保護法詳解（１）法の趣旨 と枠組み	第20回	内容	文化財保護の施（４） 日本遺産
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第6回	内容	文化財保護法詳解（２） 文化財保護の仕組み	第21回	内容	埋蔵文化財行政の仕組み（１） 把握・周知・調整
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	文化財保護法詳解（３）有形文化 財	第22回	内容	埋蔵文化財行政の仕組（２） 調査
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第8回	内容	文化財保護法詳解（４）建造物	第23回	内容	埋蔵文化財行政の仕組（３） 出土品の取り扱い
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の関 係箇所を通読しておき、疑問点が あればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。

	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	文化財保護法詳解（５） 記念物	第24回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（１） 発掘調査費用の負担問題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	文化財保護法詳解（６） 民俗文化財・有形文化財	第25回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（２）発 掘担当者の資格問題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文 献の関係箇所を通読してお き、疑問点があればメモし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	文化財保護法詳解（７） 文化的景観	第26回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（３） 取り扱い基準と民間調査機関
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文 献の関係箇所を通読してお き、疑問点があればメモし ておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第12回	内容	文化財保護法詳解（８）埋 蔵文化財	第27回	内容	埋蔵文化財行政の諸問（４） 調査時の事件・事故と安全対策
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）土木工事における各種 法令や基準を整理しておくこ と。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	文化財保護の諸制度（１） 現状変更許可制度	第28回	内容	埋蔵文化財保護行政の課題
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）２１回～２７回の講義 内容を整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第14回	内容	文化財保護の諸制度（２） 登録文化財制度	第29回	内容	埋蔵文化財保護行政の展望
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）２１回～２７回の講義 内容を整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	文化財保護の諸制度（３） 関連諸法令	第30回	内容	文化財保護行政制度のまとめ
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）参考書で掲げた文献の 関係箇所を通読しておき、疑問 点があればメモしておくこと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	（予習）これまでの講義内容を 整理しておくこと。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

考古学特論 3

概要

対象年度	年度	2021	期	(週1コマ)通年	開講時限	火2
開講学部・学科等	大学院					
科目コード	071028200		科目ナンバー			
授業名	考古学特論 3					
英文授業名	Special Studies in Archaeology 3					
担当教員	井上 尚明					

授業形態	講義		
	e-learning利用		その他：
担当形態	単独		
関連する授業			
	当科目履修前に履修しておくことが望ましい科目		
	後続関連授業		
教職課程科目			
テーマ・キーワード	飛鳥の遺跡群	中央官衙と地方官衙	古代景観

授業の概要・ねらい	律令国家の形成過程とその変遷を、遺跡の動態や遺構・遺物から紹介し、最新の調査・研究成果を取り入れながら講義する。また、遺跡や遺物に残る痕跡や文献資料から、古代の環境変化と災害を解説し、考古学から環境史や災害史を考える能力を養う。
到達目標	古代遺跡の構造や出土遺物から、遺跡の性格や時期的な特徴を理解し、律令国家の形成過程を考古学的に説明することができる。環境や災害という視点から古代社会の変化を理解している。
教科書と準備するもの	テーマに沿った資料を適宜配布する。
参考書	須田勉他『日本古代考古学論集』、江口桂他『古代官衙』、井上尚明他編『飛鳥時代の東国』、その他必要に応じて紹介する。
評価の基準	以下の2点を基準として評価する。①古代遺跡の特徴と性格を遺構・遺物から説明できる。②考古学からみた環境や災害について理解している。
具体的評価方法	授業内での発表やレポートなどで評価する。
授業評価アンケート フィードバック 受講生へメッセージ	最新の調査・展示の情報を提供するので、積極的に遺跡や博物館見学をしてほしい。質問は随時受け付けるので、疑問点は残さず学修してほしい。
単位互換	
特記	大学所蔵の考古資料を活用して、実践的な授業をする。

授業計画

第1回	内容	ガイダンス 授業の進め方と研究史を説明する。	第16回	内容	国府の成立 国府の成立について、東国を中心に解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：シラバスを読んでおくこと。 復習：研究史の重要性を理解すること。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：武蔵国府の立地について調べておく。 復習：国府立地の属性と地域性を理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第2回	内容	古代の考古学について 授業で扱う時代と地域の範囲を説明する。	第17回	内容	評家の設置 1 評と評家の設置について、律令国家の形成期としての視点から解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：参考書で古代考古学について調べておく。 復習：研究史の重要性を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評制について予習しておくこと。復習：評制期の歴史的意義について確認する。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第3回	内容	古代遺跡の種類と構造 古代遺跡の種類と構造などについて解説する。	第18回	内容	評家の設置 2 評家の設置によって地域社会がどのように変化し、景観がどう変遷するかを講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：参考書などで古代遺跡の種類について調べておく。 復習：古代の範囲を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評家遺跡の調査例を確認すること。 復習：武蔵国の評家について理解する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第4回	内容	古墳時代から律令時代へ 1 前方後円墳の終焉と埴輪の消滅について、時代背景から説明をする。	第19回	内容	評家の設置 3 評家遺跡の構造と変遷について解説する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：古墳の墳形について調べておく。 復習：前方後円墳の分布を確認しておく。配布資料を再読する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：評家の年代観について予習しておくこと。 復習：評家の出現と郡家への移行について理解しておく。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	大学所蔵資料で年代観の確認を行う。
第5回	内容	古墳時代から律令時代へ 2 終末期古墳の分布と出土遺物について解説する。	第20回	内容	国郡制と郡家 大宝令による郡の設置と評家との関係について講義する。
	授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：終末期古墳とは何かを調べておく。 復習：終末期古墳の墳形の種類について理解する。		授業時間外における学修（予習・復習等）	予習：大宝令について予習しておくこと。 復習：評家と郡家の比較をすること。配布資料を再読する。
	授業実施特記	特になし。		授業実施特記	特になし。
第6回	内容	古墳時代から律令時代へ 3 終末期古墳と古代寺院の関係について解説する。	第21回	内容	郡家の構造 1 郡家の機能について、出土遺物や東国の郡家を例に考える。

	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：東国の出現期古代寺院に ついて確認しておく。 復習：終末期古墳の特徴を理 解する。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：「地方官衙の種類」講義 で、郡家の役割を確認しておく。 復習：国府との違いを確認す ること。配布資料を再読する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第7回	内容	飛鳥の遺跡群 1 飛鳥寺の建立と飛鳥諸宮について 解説する。	第22回	内容	郡家の構造 2 正倉・政庁などの郡家諸施設につ いて解説する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：飛鳥の立地について調べて おく。 復習：飛鳥時代の時代背景を確認 する。配布資料を再読する。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：評家の構造について確認し ておく。 復習：評家との構造上の違いを再 確認する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第8回	内容	飛鳥の遺跡群 2 飛鳥編年と暦年代の比定につい て、畿内と東国を比較検討する。	第23回	内容	古代交通 1 官道の整備とその構造について解 説し、古代景観にどのような影響 を及ぼしたか講義する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：飛鳥編年について、藤原報 告Ⅱと平城報告Ⅶを確認してく おく。復習：編年に使用された主な 遺跡を理解する。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：古代道路の調査例を調べて おく。復習：「地方官衙の種類」 講義を確認し、配布資料を再読す る。
	授業実施 特記	大学所蔵資料を使った授業と する。		授業実施 特記	特になし。
第9回	内容	飛鳥の遺跡群 3 改新の詔について考古学的な 視点から解説する。	第24回	内容	古代交通 2 駅家の整備とその構造について 解説する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：大化改新について調べて おく。 復習：天下立評などの詔につ いて確認しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：古代道路の構造を確認し ておく。復習：郡家と駅家の構 造上の差を理解する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第10回	内容	飛鳥の遺跡群 4 飛鳥池遺跡の重要性について 解説する。	第25回	内容	古代交通 3 水上交通関連遺跡を紹介し、そ の構造について解説する。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：飛鳥池遺跡の位置や立地 条件について調べておく。 復習：富本銭の重要性を確認し ておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：「津」地名などについて 調べておく。 復習：陸上交通との関連を理 解する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第11回	内容	飛鳥の遺跡群 5 水落遺跡の構造を紹介し、時を支 配する意味について理解する。	第26回	内容	居宅遺跡と出土遺物律令時代の 居宅を紹介し、地方官衙との 比較から地域社会を考える。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：漏刻台について、その概 要を調べておく。 復習：官僚制と水落遺跡の関係 を確認しておく。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：古墳時代の居館について 調べておく。 復習：配布資料を再読する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

第12回	内容	飛鳥宮から藤原京へ 飛鳥を離れ、藤原京を建設した 理由について解説する。	第27回	内容	庄家遺跡と出土遺物初期庄園と 呼ばれる、8世紀代の庄家の構 造と出土遺物について講義す る。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：藤原京の立地を調べてお く。 復習：藤原京の特徴を確認して おく。配布資料を再読する。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：中世荘園について調べて おく。復習：庄家の構造と中 世荘園を比較する。配布資料を 再読する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第13回	内容	平城遷都 平城京への遷都と藤原京の関係 を解説する。	第28回	内容	自然科学と歴史考古学 花粉分析や火山灰分析などの科 学分析から、古代の景観と環境 を考える。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：藤原京と平城京の位置関 係を調べておく。 復習：平城京の立地について確 認しておく。配布資料を再読す る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：科学分析の種類を予習し ておく。復習：配布資料を再読 する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	資料サンプル・標本などを使用 した授業とする。
第14回	内容	中央官衙の構造 藤原宮と平城宮の京内での位 置関係とその違いについて解 説する。	第29回	内容	歴史災害と考古学 古代の災害 記録や地震・津波痕跡などか ら、古代社会と災害の関わりを 考える。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：平城宮の平面図を調べて おく。 復習：『周礼』に基づく藤原 宮と平城宮の違いを確認する こと。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：六国史などの災害記録を 確認しておく。 復習：東日本大震災などの現代 の災害と歴史災害を比較す る。配布資料を再読する。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。
第15回	内容	地方官衙の種類 地方官衙の成立と地方行政組織 の変遷について概説し、古代景観 の成立を説明する。	第30回	内容	まとめ-古代景観を考える- これまでの授業で得られた知識 と新知見から、古代社会の景 観を考えてみる。
	授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：地方官衙とは何か調べて おく。 復習：中央官衙との比較をす ること。配布資料を再読す る。		授業時間外 における学 修（予習・ 復習等）	予習：これまでの資料を確認し ておく。復習：特定の遺跡の景 観を想定してみる。
	授業実施 特記	特になし。		授業実施 特記	特になし。

授業コード	1201450	科目コード	1211011725	開講学期	2021年度 前期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	考古学研究ⅠD 古墳時代文化研究
科目名英訳	Study on ArchaeologyⅠD
科目名備考	
担当者	小泉 玲子

一般教養になる 他学科学生（所 属）		一般教養になる 他学科学生（学 年）	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	日本の古墳時代について様々な考古資料をもとに考える。前期は古墳時代の遺物についての知識を増やすことを目的とし、後期は遺物研究から古墳祭祀の諸相を探り、東国の古墳時代の特色を考える。
授業到達目標 及びテーマ	日本の古墳時代を理解する上で必要な基本的知識の修得と、研究状況・方法論を学び、調査・研究方法を身につける。
キーワード	(1) 古墳 (2) 葬送祭祀 (3) 埴輪祭祀
内容（学生の 学修内容と準備 学習の内容を含む）	(1) 本講義の内容と目的について [準備]シラバスを確認する(90分) (2) 古墳時代について 古墳とは [準備]古墳の定義を調べる(90分) (3) 資料の見方と研究方法 古墳の立地と分布 [準備]前回講義「古墳とは」について復習する(90分) (4) 資料の見方と研究方法 古墳の墳丘と外表施設 [準備]古墳の外表施設を調べる(90分) (5) 資料の見方と研究方法 古墳の埋葬施設 [準備]古墳の埋葬施設を調べる(90分) (6) 資料の見方と研究方法 土師器 (1) [準備]土師器について調べる(90分) (7) 資料の見方と研究方法 土師器 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分) (8) 資料の見方と研究方法 埴輪 (1) [準備]埴輪について調べる(90分) (9) 資料の見方と研究方法 埴輪 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分) (10) 資料の見方と研究方法 須恵器 (1) [準備]須恵器について調べる(90分) (11) 資料の見方と研究方法 須恵器 (2) [準備]前回講義の内容を復習する(90分) (12) 資料の見方と研究方法 鏡 [準備]鏡について調べる(90分) (13) 資料の見方と研究方法 装身具 [準備]装身具について調べる(90分) (14) 遺跡見学および博物館見学 [準備]訪問先の遺跡および博物館について調べる(90分) (15) まとめ [準備]これまでの学習内容を復習する(90分)
評価基準と評 価の方法	五段階評価。平常点（受講態度・授業参加等）30%、レポート点70%。この割合を基準として総合的に評価する。提出課題はコメントして返却。

教科書1		ISBN1	
教科書2		ISBN2	
教科書3		ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊15 雄山閣		

担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室（B7.5階） オフィスアワー：金曜日13：30～14：30 研究室（B7.3T01b）
その他（履修条件、注意事項等）	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態：単独
事務使用欄	

授業コード	2201720	科目コード	1212011723	開講学期	2021年度 後期	単 位	2.0
-------	---------	-------	------------	------	-----------	-----	-----

開設学科	生活文化研究専攻	科目ナンバリング	
------	----------	----------	--

科目名	考古学研究 I D 古墳時代文化研究
科目名英訳	Study on Archaeology I D
科目名備考	
担当者	小泉 玲子

一般教養になる 他学科学生（所 属）		一般教養になる 他学科学生（学 年）	
--------------------------	--	--------------------------	--

授業概要	日本の古墳時代について様々な考古資料をもとに考える。前期は古墳時代の遺物についての知識を増やすことを目的とし、後期は遺物研究から古墳祭祀の諸相を探り、東国の古墳時代の特色を考える。
授業到達目標 及びテーマ	日本の古墳時代を理解する上で必要な基本的知識の修得と、研究状況・方法論を学び、調査・研究方法を身につける。
キーワード	(1) 古墳 (2) 葬送祭祀 (3) 埴輪祭祀
内容（学生の 学修内容と準備 学習の内容を含 む）	(1) 本講義の内容と目的について [準備]シラバスを確認する(90分) (2) 古墳時代について [準備]前期の講義内容を復習する(90分) (3) 埴輪祭祀 (1) 円筒埴輪の成立と変遷 [準備]埴輪について調べる(90分) (4) 埴輪祭祀 (2) 埴輪の編年 [準備]「円筒埴輪総論」（配布）の内容を確認する(90分) (5) 埴輪祭祀 (3) 形象埴輪の出現と展開 [準備]前回の講義内容を復習する(90分) (6) 埴輪祭祀 (4) 形象埴輪群像の解釈 [準備]『古墳時代の遺跡学』の「埴輪文化」（配布）を読む(90分) (7) 古墳時代の諸問題 東国の古墳 [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (8) 古墳時代の諸問題 東国における埴輪生産と流通 (1) [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (9) 古墳時代の諸問題 東国における埴輪生産と流通 (2) [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (10) 古墳時代の諸問題 古墳時代前期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (11) 古墳時代の諸問題 古墳時代中期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (12) 古墳時代の諸問題 古墳時代後期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (13) 古墳時代の諸問題 古墳時代終末期の東国 [準備]『武蔵と相模の古墳』（配布）の所定の場所を読む(90分) (14) 遺跡見学および博物館見学 [準備]訪問先の遺跡および博物館について調べる(90分) (15) まとめ [準備]これまでの学習内容を復習する(90分)
評価基準と評 価の方法	五段階評価。平常点（受講態度・授業参加等）30%、レポート点70%。この割合を基準として総合的に評価する。提出課題はコメントして返却。

教科書1		ISBN1	
教科書2	特になし	ISBN2	
教科書3	特になし	ISBN3	
授業資料	適宜配布する		
参考書	土生田純之編集2014『古墳の見方』ニューサイエンス社 三木 弘 2011 『古墳社会と地域経営』学生社 広瀬和雄 2007 『古墳時代政治構造の研究』塙書房 坂 靖 2009 『古墳時代の遺跡学』雄山閣 広瀬和雄・池上悟編 2007『武蔵と相模の古墳』季刊考古学別冊15 雄山閣		

担当者連絡先	常勤教員 火・水・木・金 歴史文化学科教授室（7号館5階） オフィスアワー：金 13：30～14：30 研究室（B7. 3T01b）
その他（履修条件、注意事項等）	教員免許取得のための選択科目 中学社会、高校地理歴史 教科に関する科目 担当形態：単独
事務使用欄	